

EditNet 認証サーバの更新について
(2026年実施)

EditNet株式会社

認証サーバ更新の実施について

- EditNetでは、2026年6月～8月にかけて、認証サーバの更新工事を行います。
- サーバの更新により、接続の認証に関する仕様が一部変わります。（一般的には、お客さまの利便性が向上します。）
- 更新工事の期間中、過渡的な仕様で運用することがあります。

• 認証サーバとは

当社における認証サーバは、フレッツ（一部ダイヤルアップ）を經由して当社サービスを利用される方を、接続の都度ログインIDとパスワードで認証するためのサーバです。

フレッツ等の接続装置から認証の要求を受け、接続の可否を装置に答えるとともに、接続のログを記録するなどの役割を持っています。

• 更新の背景

当社の認証サーバは、1996年のサービス開始から基本的な部分で同じソフトウェアを使用してきたため、現在は古いものになっており、当社での運用上も使いにくくなってきたことから、新しいものに更新します。

更新工事のスケジュール

- ・更新工事は概ね以下のスケジュールで行います.

2026年6月21日	サーバ切換え(1回目)
2026年6月28日	サーバ切換え(2回目)
2026年7月~8月	順次仕様を変更, 完成

- ・サーバ切換え(1回目)から完成までの間, 過渡的な仕様で運用します. (詳細は後述します.)

更新工事の影響

- 更新工事は概ね以下のスケジュールで行います。

2026.6.21	1回目切換え	いずれも一時的に、 <ul style="list-style-type: none">• PPPoE接続の開始や再接続に失敗、または時間がかかる状況• 固定IPアドレスのお客さまが運用しているドメインのセカンダリDNSが停止
2026.6.28	2回目切換え	いずれも一時的に、 <ul style="list-style-type: none">• PPPoE接続の開始や再接続に失敗、または時間がかかる状況• DNSサーバ(リゾルバ)の1台が一時停止
2026.7～ 2026.8	仕様変更, 完成	<ul style="list-style-type: none">• セッションタイムアウトの仕様を順次変更 (過渡的仕様→廃止)

• 影響範囲について

PPPoEの認証サーバとDNSサーバは複数台の運用で、工事は1台ずつ行うため、同時に止まることはありません(片方停止中は再試行などで時間がかかることはありません)。

セカンダリDNSは、お客さまが運用するプライマリサーバの予備の位置づけです。

主な改善，変更点

- ・セッションタイムアウトの廃止 完成後順次

経過時間による一律のセッション切断を廃止し，工事や保守運用のために必要な場合に切断を実施します。

- ・解約や利用停止による切断などの迅速化 1回目切換後順次

従来，サービスの解約，料金のお支払い状況による利用停止の場合，セッションの切断まで最長1か月程度かかることがありましたが，これを大幅に短縮し，数分～数時間とします。

料金の収納確認による利用再開も，現在は15分～30分でしたが，最短で数分とします。

※ただし，自動処理できなかった場合は平日の日中に順次実施します。

- ・当社から行うセッション切断について

例えば，DNS(リゾルバ)のIPアドレスが変更になる場合，NTTとの接続点のトラフィックが大きく偏り，調整しないと多くのお客さまの利用に支障が出る場合などを想定しています。

主な改善, 変更点

- 重複接続時の動作の変更 1回目切換後順次

当社のサービスでは、1つのログインIDで1つの接続しかできません。（一部の例外はあります。）

これまで、同一のログインIDで複数の接続をしようとした場合の動作は不定となっていました。（認証サーバ側で接続を拒否することがある、という仕様でした。）

認証サーバ更新後は、重複接続を検出した場合、認証サーバ側が一定時間後に先行のセッションを切断します。

• 先行セッションの切断について

重複接続はほとんどの場合、お客様のルータの再起動や回線不調などで先行のセッションが断になった場合で、その情報が何らかの理由で当社側の装置に届かないまま、自動再接続で後続のセッションが確立したものです。この場合、先行セッションは実際には切れているため、当社から切断の指令を送っても何も起こりません。

一方、お客様の設定誤りなどで実際に重複接続が行われている場合、●今回の認証サーバの仕様変更と関係なく、接続に不具合が生じることがあります。●今回の仕様変更により切断が行われることで、不具合が生じることがあります。いずれの場合も、設定や契約内容の見直しが必要となります。

工事に伴うサービスへの影響

- サーバ停止にともなう影響

1回目切換え実施中

- 認証サーバのうち1台を停止するため、PPPoEの接続認証に時間がかかったり、一時的に認証に失敗することがあります。
- すでに確立しているPPPoEセッションが切れることはありません。
- 作業の都合上、お客さまの独自ドメインのセカンダリDNSが一時停止します。（セカンダリサーバのため、お客さまのサーバが正常に動いていればDNSの応答が完全にできないことはありませんが、リトライなどで時間がかかることはあります。）

工事に伴うサービスへの影響

- ・サーバ停止にともなう影響

2回目切換え実施中

- ・ 認証サーバのうち1台を停止するため、PPPoEの接続認証に時間がかかったり、一時的に認証に失敗することがあります。
- ・ すでに確立しているPPPoEセッションが切れることはありません。
- ・ 作業の都合上、お客さまのインターネット接続に使うDNS（リゾルバ）のうち1台が停止します。もう1台は動いているため、完全につながらなくなることはありませんが、リトライの発生などで通常よりつながりにくくなることはあります。

- ・ ネームサーバの停止について

DNS(リゾルバ)の設定について、事前にお客さまの手動設定により、8.8.8.8や1.1.1.1などを設定しておくことで、工事の影響を回避することはできますが、当社として積極的にお勧めする方法ではありません。(いずれにせよ、知識や経験が豊富な方向けです。)

工事に伴うサービスへの影響

- ・ 過渡的運用による影響

1回目切換え～完成まで

- ・ セッションタイムアウトの個別設定（除外，時間帯調整）を承っている場合，工事期間中に再接続すると，個別設定が働かず，他のお客さまと同様の運用になります。
- ・ 工事期間中は，セッションタイムアウトを1814400秒(ちょうど21日間)で運用します。
- ・ ただし，
 - ・ セッションタイムアウトの除外をしている方は，セッションが切れない限り再接続しないため，影響が生じません。（工事期間中にセッションが切れて再接続した場合，そのセッションはタイムアウトします。）
 - ・ 曜日，時間帯調整をしている方は，工事期間中に再接続すると特別な設定が働きませんが，セッションタイムアウト後すぐの再接続であれば，次回も同じ曜日・時間帯にタイムアウトすると考えられます。

認証サーバ全体が新機能に対応するまで，セッションタイムアウト自体は設定しておく必要があるため，一時的にこのような運用となります。